

<セルフマネジメントシート（SMS）の運用について>



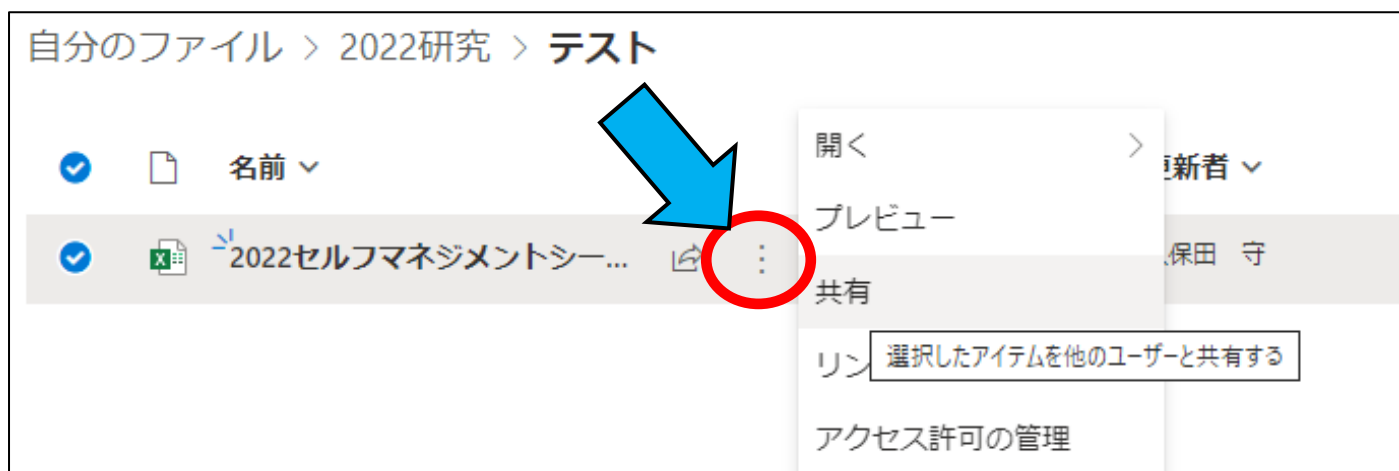
(1) 学習支援ソフト **“Teams”** を利用して、生徒に配信する。

(2) 配信されたセルフマネジメントシートを生徒が自分で **“ONE DRIVE”** に保存する。

＊保存する際のファイル名は、例：）2212 久保田守セルフマネジメントシート とした。
(学年・組・出席番号・氏名)

(3) 保存したセルフマネジメントシートに指導者との共有を生徒が設定する。

① ファイル名の右横にある **3点ドット** をクリックし、**共有** を選択する。



② 指導者のアカウントを入力（選択）する。

○まずは、**担任の先生のアカウントを生徒に
入力させる**ようにしましょう。

次第に、学年の先生や他教科の先生との共有も設定していくことで、複数の指導者の目で生徒の家庭での学習の様子を確認し、指導することができます。

○共有を設定することで、**指導者はいつでも、
どこでも生徒のセルフマネジメントシートを
モニタリングすることができます**。また、シートに文字を入力したり吹き出しを貼り付けたりして、学習のアドバイスを生徒に送ることができます。

○指導者が生徒に送る学習のアドバイスについて

では、学習時間についてのアドバイスばかりではなく、学習方略についてのアドバイスを送るようにしてください。そのためには、**指導者自身が学び方を指導していくことの有効性を認識し**、指導することができるだけの多様な学習方略を理解しておく必要があります。



- (4) “計画”については、特別活動等の時間の中で、次週の一週間の計画をまとめてさせることや、毎日の終学活を利用してその日の学習計画を立てさせるとよいでしょう。
最初から生徒に任せてしまうと、なかなか習慣付きません。そのため、**生徒が計画を入力する時間を指導者が設定することが重要**でしょう。
- (5) “実行”については、生徒が家庭で就寝前に入力することや、毎日の終学活を利用してその日の学習計画を立てることといっしょに前日の学習した記録を入力するというやり方でも良いでしょう。
この“計画”と“実行”を入力する時間の設定や運用については各学校でご検討ください。
- (6) セルフマネジメントシートを使った学習の自己調整は、定期テストの前後だけで行うものではありません。日頃から取り組むことで、**見通し→実行や修正→振り返り、という自己調整のサイクルの自覚化**を生徒に促すことができる。
- (7) セルフマネジメントシートは生徒が枠を編集することができないように“保護”をしています。(字体やフォントを変えたり、矢印や吹き出しを貼り付けたりすることはできます)
2022年版のセルフマネジメントシートの**パスワードを“a”**としていますが、生徒には教えないようにしてください。
また、2022年度版をベースに**先生方で自由に編集していただいて、各学校の生徒に合わせてご活用ください**。
- (8) セルフマネジメントシートに残してきた学習履歴を分析するためのシートとして、
“2022（家庭学習）分析シート”を成果物の中に上げています。セルフマネジメントシートと合わせて、ご活用ください。